

世田谷区立桜丘中学校 音楽科 年間指導計画

中学生の音楽 2・3 年下 (教育芸術社)

年間授業時数 35

学年 3 学年

学級 A～F 組

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>○曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>○曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>○主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
使用教科書、副教材など	「中学生の音楽 2・3 年下」 (教育芸術社) 「中学生の器楽」 (教育芸術社) 「Joyful songs」 (新学社)

2. 学習指導計画及び評価方法

学期	月	題材タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4・5	「花」日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱 (共通教材) 「花」を通して「心の歌」に触れ我が国の音楽文化に親しみをもち、愛着を持って歌う。 実技テストの実施	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○滝廉太郎 ○武島羽衣	旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

2	5・6	「ブルタバ」音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	交響詩のよさや美しさに触れる。 情景を想像しながら、場面ごとに鑑賞する。	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 ○スメタナ ○チェコの音楽 ○交響詩 ○ラヴェル ○バレエ音楽 ○オーケストラ	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	7	リコーダー楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	アーティキュレーションの工夫。奏法（タンギング）の復習。楽曲への理解を深め、表現を工夫する。高音の息遣い。運指。	[知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ○タンギング ○高いレ・高いミ	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	9	雅楽「勸進帳」日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	歌舞伎（長唄）における音楽表現について理解する。和楽器の特徴や奏法について理解する。	[知] 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ○長唄と長唄に使われる楽器	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	10	箏の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	箏の基本的な奏法を身に付けて演奏する。 箏の音色や音階を生かした旋律を創作する。	[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら伴奏と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 [知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	11・12	「自由曲」曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	混声4部合唱に取り組む。パート編成や声部ごとの発声法について理解する。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○子音・母音・鼻濁音	音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	12	「ポピュラー音楽」ポピュラー音楽のよさや美しさを味わって聴こう	●我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	ポピュラー音楽の音楽の特徴を理解する。 様々なジャンル同士の関わりを理解し、生活や社会における役割を考えて聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	1・2	「合唱コンクールにむけて」仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	他学年の手本となるような合唱、鑑賞態度を育てる。他学年との交流ではアドバイスができるようにする。クラスメイトと協力し合唱の練習に取り組む。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
3	3	「卒業生合唱」卒業式にむけて感謝の気持ちを込めて歌おう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	卒業式にむけて合唱に取り組む。 歌唱表現をどのように工夫するか考える。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○表現の工夫	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
【評価方法】年間共通 ・各題材における実技テスト・積み重ねテスト・ワークシートや振り返りシート等における記述・教員による観察等							